

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>令和4年度 6月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子</p>
---	--------------------------	---

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.in/school/E31/>



「らしく」生きる



学校のアジサイもきれいに色づいてきました。5月26・27日には、6年生が修学旅行で奈良、鈴鹿方面へ行ってきました。雨の予報でしたが、奈良でも鈴鹿でも傘を使うことなく過ごせました。また、体調不良者も出ず、予定通りの活動ができました。グループで楽しそうに過ごす子どもたちを見て、行事の大切さを再認識しました。

新型コロナウイルス感染症は、少しずつですが、落ち着いてきたように思われます。先日配布しました「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」改めて説明いたします。会話があるかないか、身体的距離が確保されているかどうかで判断が変わります。身体的距離が確保できる場合は、着用の必要はありません。また、屋外なら、身体的距離がとれていなくても、会話をほとんど行わなければ着用の必要はありません。ただし、身体的距離が確保できない場合は、屋外で会話をほとんど行わない場合以外は、着用を推奨するということです。これから暑くなってきます。熱中症対策を優先し、「学校におけるマスク着用の必要がない活動例」に合わせ、登下校時等、距離を取りながら、マスクを外して過ごしていければと思います。

さて、「らしく」と聞いて、どんな言葉を想像するでしょうか。「女らしく」？「男らしく」？「女の子なんだから女の子らしくしなさい。」「男の子なんだから、そんなことで泣かないの。」これらは、未だによく聞かれる言葉です。今のこどもたちには、そうした思い込みから自由になって、性別で差別されない社会（＝ジェンダー平等な社会）を生きてもらいたいです。日本は遅れているのですが、少しずつ「自分らしさ」をもち、他の人との違いを認めあうことを大切にできる社会になってきています。これからは、みんなが違和感をもつことなく、「自分らしく」堂々と生きられる社会が実現していくことを願っています。

6月は、5年生の自然学校があります。今年度は2泊3日で美方高原自然の家に行きます。また、3年ぶりにプールにも入ります。プールについては、安全に入ることを一番に考え、密を避けるため学年ごとに入り、担任以外の先生にも関わってもらいながら、主に水に慣れる活動を取り入れてまいります。梅雨が本格化してくると、ジメジメしてきて体調も整えにくいです。免疫力をつけるため、規則正しい生活をし、十分に睡眠をとり、バランスのとれた食事をし、体調を万全にしていければと思います。